

成長過程のクリスチャンのための10の鍵

4. 祈りー“ちよっと待って。”

神はいつでも祈りに答えてくださるといふのはよく聞く言葉だ。“はい”と言われる時もあるし、“いいえ”と言われる時もあるし、“ちよっと待って”と言われる時もある。主の一日は私たちにとって千年のようである。(2ペテロ3:8) つまり、私たちにとって10年間待つとは、神にとって14分24秒ということになる。だから、信仰をもって求め、平安に満ちた忍耐をもって待とう。

祈りが聞かれるための方法：

1. 信仰をもって祈る(ヘブル11:6)
2. きよい手と純粋な心で祈る(詩篇24:3-4)
3. 無駄な繰り返しではなく、偽りのない心からの祈りを捧げる(マタイ6:7)
4. 聖書の中で示されている神にだけ祈る(出エジプト記20:36)

調査によると、90%以上のアメリカ人が毎日祈っている。もちろん彼らは健康、富、幸福などについて祈っている。また、おばあさんが病気になる時は祈る。おばあさんが良くなるらない時(または亡くなってしまった時)は、多くの人が幻滅し、中には苦々しさを抱いてしまう人もいる。なぜなら、彼らは、聖書で言っている祈りを理解していないのだ。もし私たちの内に罪があるなら、神は私たちの祈りを聞くことさえできない。(詩篇66:18) 中でも、もし私たちが疑いをもって祈るなら、答えを得ることはできない。(ヤコブ1:6-7)

あなたは、どのようにして“信仰をもって祈る”だろうか？以前、ある人が私にこのように言った。“レイ、君は偉大な信仰の人だよ。”私は彼らがほめてくれていたのだと思った。しかしそうではなかった。もし私があなたに、“私は主治医に非常に信頼を寄せている。”と言うなら、それはその医者に対するものだ。もし私が彼に信頼を寄せているなら、それは私が彼を高潔な人、才能溢れる人と見なししていることになる。つまり、彼は信頼できる人なのだ。信頼を通して、私は彼に“誉れ”を与える。聖書では、アブラハムは“不信仰によって神の約束を疑うようなことをせず、反対に、信

仰がますます強くなって、神に栄光を帰し、神には約束されたことを成就する力があることを堅く信じた”。(ローマ4:20-21) アブラハムは、偉大な信仰の人だった。それはアブラハムをほめてはいないということ覚えておこう。彼は、神のすばらしい能力、罪が全くない高潔さ、ご自身の約束をすべて守るといふすばらしい忠実さをちらりと見ただけだった。アブラハムの信仰は、忠実な神に“栄光”を帰した。

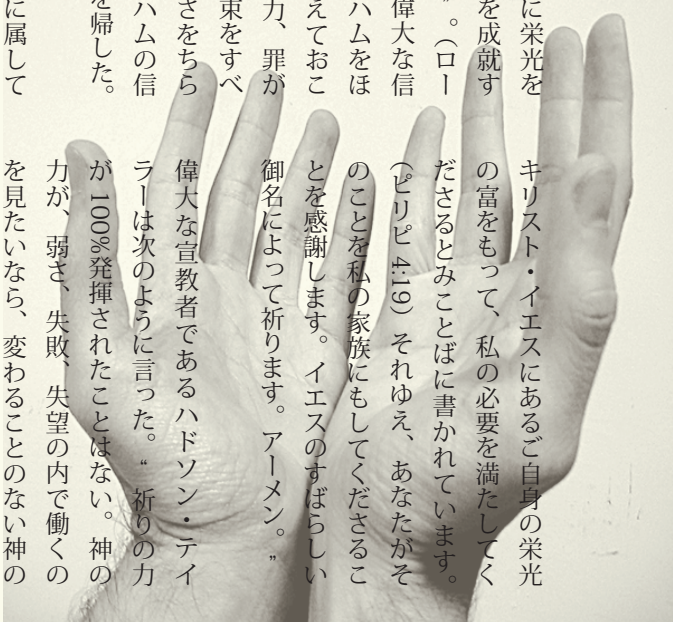
神に関する限り、もしイエスに属しているのであれば、あなたはVIPである。大胆に恵みの御座に近づくことができ。(ヘブル1:10) あなたは王の息子、娘なので、王とのアクセス権を持っている。子どもの頃、両親に自分の必要を満たしてもらったために土下座しなければならなかっただろうか？そんなはずはない。

だから祈る時、“ああ神様、あなたが私の必要を満たしてください。私に思えます。”と言わなくていい。その代わり、次のように祈ることができ。“父よ、あなたはすべての約束を守られますから感謝します。あなたは、

キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、私の必要を満たしてください。とみことばに書かれています。(ピリピ1:6) それゆえ、あなたがそのことを私の家族にもしてください。と感謝します。イエスのすばらしい御名によって祈ります。アーメン。”

偉大な宣教師であるハドソン・テイラーは次のように言った。“祈りの力が100%発揮されたことはない。神の力が、弱さ、失敗、失望の内側働くを見たいなら、変わることはない神のチャレンジに応答しよう。私を呼ぶなら、あなたに答えよう。今まで知らなかったような偉大で力あることをあなたに見せよう。”

“きよい手と純粋な心”はどうやって手に入れるのか？それは単に、イエス・キリストを通して、神に罪を告白することによってである。イエスの血潮は、すべての罪をきよめる。(1ヨハネ1:7) イエスを通して、神に罪を告白する時、神はあなたのすべての罪を赦してください。ただでなく、その罪を忘れると約束してください。



る。(ヘブル8:12) 救い主といういけにえのゆえに、あなたを義と認めてくださる。つまり、初めから罪を犯していなかったかのように見なしてください。神の目から見て、あなたは罪のない、聖い者となる。神はあなたの良心までも洗いよめてくださるので、もともと犯した罪に対する罪悪感をもはや持つことはない。それが、“信仰によつて義とされる” という意味である。だからこそ、聖書に専心する必要がある。つまり、教会に宛てて書かれた手紙を読み、カルバリーの十字架を通して、神が私たちにしてくださいすばらしいことを見る。もし遺言を読まないなら、自分のために何が残されているのかを知ることができない。

“偽りのない心からの祈り” はどのようなにして捧げるのか？ただ単に、自分自身を神の愛の中に留めることによつてである。神の愛があなたのうちにあるなら、偽善的に、または自分勝手に祈ることは決してないだろう。事実、もし愛の心があるなら、自分勝手に祈る必要はない。あなたの祈りの生活が神を喜ばせているなら、神が公然とあなたに報いてくださると聖書は語っている。(マタイ6:6)

“聖書の中で示されている神” に祈っているということは、どのようにして知ることができるのか？みことばを学ぼう。世によつて描写されている神のイメージを受け入れてはいけない。たとえそれが肉の思いに訴えかけるとしても。正義や真理というよりも、愛情深く、親切的な父親として、罪を犯した罪人に訴えかける。シナイ山のとどろきと稲妻を見よう。カルバリーの十字架にかかっているイエスを見つめよう。聖なる神の義がもたらした、言葉にならないほどの苦悩に、彼はじっと耐えている。そのような思いが、偶像礼拝を追い払う。